

『同居する粘液』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査

■アンケートの詳細

調査目的	『同居する粘液』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『同居する粘液』を読んだことのある20代～50代の男女18名
調査期間	2025年10月24日～2025年10月25日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/doukyosuruneneki/

■アンケート項目

Q1:年代と性別を教えてください。

Q2:『同居する粘液』を実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

Q3:『同居する粘液』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1:年代と性別を教えてください。

20代男性	4人
20代女性	0人
30代男性	6人
30代女性	0人
40代男性	8人
40代女性	0人
50代男性	0人
50代女性	0人

Q2:『同居する粘液』を実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

～～作品の5段階評価について～～

★★★★★(とても面白かった):絵・物語・キャラに魅力を感じた。続きがあればぜひ読みたい

★★★★(面白かった):漫画の内容で面白かったり、満足できる要素が一つでもあった。
 ★★★(普通):面白いとも面白くないとも言えない。
 ★★(面白くなかった):あまり好きではない描写や要素があった。
 ★(全く面白くなかった):読んでいて不快・退屈だった。

★★★★★★	7人
★★★★★	8人
★★★★	3人
★★★	0人
★★	0人
★	0人

Q3:『同居する粘液』を実際に読んだ感想を教えてください。

同居する粘液	同居する粘液ってどういう例えなのかなと思ったらタイトルまんまでした。スライム系生物といっしょに生活しつつも、誘われたり困惑したり。美少女に擬態するのが罪深いですね...こんなの拒否できるわけがありません。ただの擬態生物とわかっていても、男性的な本能は抑えきれず...。美少女のチョイスも良すぎてドキドキしました。
同居する粘液	コンビニ店員ちゃんが一番可愛かったです。ややデッサン狂っているところもあるのでそこは気になりますが、軟体生物化するのであまり目立たない。あと、制服美少女の正統派ヒロイン感も好きでした。こんな子いたら確実に夢中になるでしょう。したいことをさせてくれる粘液生物、本人じゃないと分かっていてもドキドキを隠しきれません。
同居する粘液	スライム系の子が誘ってくるのは共通していますが、飽きずに最後まで楽しめます。競泳水着の子が特におすすめです。二人もいるので迷ってしまうくらい。人間のフリをしているのは分かっているのに、どうしてもその魅力に引き寄せられてしまう。ジャンルの的にはサキュバス系ではありませんが、それに近い魅力があると思いました。
同居する粘液	主人公と摩訶不思議な粘液生物との出会いから、どんどんSF要素が強くなっていくストーリーに興味をひかれました。その生物は姿形を変えることができるので、いろんな女の子に変身するビジュアルを楽しめるのも良かったです。種族を越えて愛が結ばれるのか、それとも侵略されてしまうのかという緊張感も味わえるのが、この作品の魅力だと思いました。
同居する粘液	姿を変えられる粘液型生物と、平凡な青年であるユージの共同生活がどうなっていくのかワクワクできる作品でした。コミカルなシーンもありつつ、粘液型生物に少しずつ日常を侵食されていくようなスリルも味わえるので、SF系作品が好きな人におすすめできます。粘液型生物が変身する女の子たちのビジュアルも可愛いので、そのあたりも注目ポイントです。
同居する粘液	粘液グチュグチュというよりは、着衣が多めです。もっと鬼畜にハードに攻め立てる系かと思ったら、内容的なハードさはなくて、そこが見やすい理由でした。思ったよりもマニアック度は低めで、そこはややガッカリ感も。ただ、手足を使ったフェチ的行為が多めに見られたので、最終的な評価は高めです。顔面の描き方もかなり好み。
同居する粘液	最初は人道的にマズイと思ってた主人公も次第になあなあになって人を取り込むことを依頼するようになってリアリティあるなと思った。取っ替え引っ換え相手の意思に関係なく女性と遊ぶ代償として人としての道を踏み外していくのもトレードオフな取引って感じで都合良いようで対等な交渉をしているように感じて作品として好きな類でした。

同居する粘液	スライムと言うとゲームの世界を思い出しますが、こちらのスライムは変幻自在。毎日の中で出会った女の子たちに擬態してっていいですね。現実世界だと冷たい目で見られて虫けらのように扱われて、なのに家に帰ればそんな子たちを次々と楽しむことができる。ってまさかの捕食していたとは。ちょっとぞくっと来てしまいましたが、これは逃れられない。
同居する粘液	普通の展開かと思いきや、変幻自在に形を変えていく面白かったです。単に変身してるだけかと思いきや、吸収していったので、一種のホラー要素を感じました。主人公が今後どうなっていくのかハラハラドキドキの展開でその点が面白かったと思います。女の子が絶望を感じるシーンは心の変化を感じざるを得ませんでした。
同居する粘液—2体目—	ちょっとホラー感があって、そこが好き嫌い分かれるかもしれませんね。以前のテイストのほうが好きだったと思う人はいるでしょう。でも、異常なシチュエーションなのに本能的にドキドキしてしまうという展開はさすが。「さっきの奴が操ってる」と分かりつつも、それに抵抗できないまま身体を預けてしまうなんて…。
同居する粘液—2体目—	見た目だけじゃなくてIQもコピーしているらしく、美女の姿&言葉で攻めて来ます。特にお風呂場でのあのやり取りは無理ですよ。体を押し付けられた状態で突っぱねることなんて出来ないですよ。美羽さんのセクシーさも惚れそうですが、「ホテルですつもりだった」とか勝手にバラすのもやばすぎました。
同居する粘液—2体目—	単なる擬態モノの域を超えている！ちょっと感動を覚えたくらいです。やってることはかなり乗っ取り系にも近い。擬態ではありますが、本人の意思関係なくペラペラ喋りまくるのがとても良かったです。たまに体を見ていることに気づいてたとか、絶対言われたくないことをズケズケ云うのもかなり悪趣味。そこがこの作品の評価できる点です。
同居する粘液—2体目—	最初のツインテ女子よりもその次の叔母さんのほうが好みでした。関係性が深いし、前々から憧れていた女性との関係に戸惑いながら堕ちていく…。宿主の記憶を読めるという設定も最高です。しかも初体験の記憶まで遡ったり、身体を奪っておいで勝手にケイと関係を結んだり好き放題。拒絶できないケイの戸惑い、そして完堕ちまでの心理描写もお見事でした。
同居する粘液—2体目—	この作品では、謎の粘液生物に振り回されまくる主人公の様子が楽しめます。粘液生物は主人公の知り合いにも姿を変えられるので、日常がどんどん崩壊していく感じがなかなか恐ろしかったです。家庭から学校まで、どこに粘液生物が潜んでいるのかわからないというスリルがありました。後半になるにつれて、ハプニングの規模も大きくなっていくのでワクワクしながら楽しめました。
同居する粘液—2体目—	1つの人格が女性の身体を乗っ取って1人の男性を責めるシチュエーションは見たことがなくとても面白く読みました。前の人格が無くなってしまうことにゾッとしましたが、その恐怖心が成人向け作品の魅力を掻き立てているようにも思います。ハーレムのドキドキ感ともう取り返しがつかない絶望感が良い緩急になっていてシンプルに作品として面白かったです。
同居する粘液—2体目—	ホラー漫画と大人向けの漫画の融合のような作品は過去に読んだことがなかったので興味深かったです。粘液との絡みのあとに粘液に乗っ取られた人はどうなったのか、なぜこのような生物が生まれ、主人公に好意を抱くことになったのかがとても知りたくなり続きが気になりました。ただの純粹な大人向けの作品として読もうとしている方がいれば、他の作品のほうが良いかもしれません。
同居する粘液—2体目—	主人公の前に突如現れた謎の粘液が行為を示す相手に成りすます設定に驚かされた。そして、主人公に関わる周りの可愛い女性に変化していくのが魅力的でした。主人公に感情移入してしまい、複雑な気持ちになりました。様々な系統の女性が登場するので色々な人に刺さる漫画だと思いました。皆さんも是非買って読んで欲しいです！
同居する粘液—2体目—	この作品の面白かったところは、主人公と同居する粘液生物のミステリアスな部分を考察しながら読めるところです。あえて作品内で簡単に答えを見せないからこそ、こちらの想像力がかき立てられる感じがします。粘液生物が女の子に変身する度に本当に人間にしか見えなくなり、主人公も混乱しているのが伝わってきました。そんな不思議な世界観を楽しみたい人にオススメです。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス
